

市長と語る鎌倉の未来～深沢まちづくりと市庁舎移転～【オンライン版】

- (1)令和5年(2023年)3月18日(土)14時～15時 オンライン
- (2)令和5年(2023年)3月21日(火)14時～15時 オンライン

～質疑応答集～

目次

3月18日 14:00～ 参加者8名 .....	2
3月21日 14:00～ 参加者5名 .....	6

番号	質問・意見の要旨	市長の回答要旨
1	<p>観光都市としてこれからも発展していくためには、今のオーバーツーリズムを何とかしないとイケない。</p> <p>賛成・反対はたくさんあると思うが、観光都市鎌倉という観点から見れば、オーバーツーリズムを解決するためには、市長が言ったように、深沢に移転しなければ解決できないのではないか。</p> <p>反対、賛成という前に、まずどうしたらオーバーツーリズムを解決できるかということが、観光で生きていく鎌倉にとっては非常に大きな問題だと思う。</p>	<p>オーバーツーリズム、交通渋滞の課題については、行政としても様々な手を打っていますが、なかなか交通渋滞の解消までは至っていない状況です。引き続き検討して行きますが、市役所移転と合わせて、この交通課題は大変重要な課題だと思っています。</p> <p>特に、鎌倉地域に加え、深沢地域も交通量が増えている状況です。市役所移転もしくは深沢のまちづくりをする中で、渋滞が更に激しくなるのではないかと懸念の声も聞いています。</p> <p>県道については、神奈川県と連携しながらバスペイを整備したり、交差点を改良したりすることで、交通渋滞の原因を除き、交通渋滞が起きないようにすることと、深沢のまちづくりについては、まちづくりの中での道路整備はもちろん、その周辺道路、例えば、深沢小学校前の道路は歩行者と自動車が近いという危険性もあるので、この辺りもしっかり整備していけるように合わせて進めていきます。</p>
2	<p>市議会で否決された理由について、市民に興味を持っていただくことが不十分だったということが理由の一つだったと説明されたが、その他の理由は何か。</p>	<p>「本事業を進めるに当たり、事業を遂行できるような体制整備が必須の急務である」、「新たな中心市街地というまちづくりの視点が伴っていない、不十分な移転計画と言わざるを得ない」、「仮に移転するにしても全部局ではなく、現在地にふさわしい機能は残し、2拠点の分散化方式が望ましい」、「移転後の市庁舎周辺と現在地周辺等の交通ネットワークについて、来庁者の視点に立って配慮していく必要がある」、「現在地の利活用における民間活用と公共活用の割合、公共活用の部分が少ないという問題がある」などといったことが具体的な反対意見として示されています。</p>
3	<p>深沢については、そこを一つの起点にして、超高齢化社会の中、</p>	<p>市役所が移転すれば全てが解決するかのよう、我々のメッセ</p>

<p>経済を回していくこと、市民の生活環境など、様々なことを考えていると伺っており、賛成している。</p> <p>ただ、過去の議論で、深沢に市役所を移転する理由は、津波の際に司令塔機能を維持できないためと伺っている。</p> <p>一方、深沢は柏尾川の洪水による浸水リスクが考えられると伺っており、どちらを取るかという議論も過去に聞いたことがある。どちらも大きなリスクだと思う。</p> <p>深沢に移転することで全て解決するのかというのは、もしかしたら違うかもしれないなど考える。</p> <p>そうしたことを考えたときに、現庁舎にも災害時のある程度のことをできる体制を維持していく必要があるのではないか。</p> <p>浸水、津波、地震リスクがあるときに、どこかに集中すると、そこがやられたら全て駄目になる可能性が高いので、分散していく必要があるのではないか。</p>	<p>ージが伝わっているかもしれない心配を改めて感じました。</p> <p>ご指摘のとおり、移転することで、災害に強くなるということが全てかなうわけではなく、市役所と消防本部という機能が合体することで、より迅速に動ける体制ができるというものです。ただ津波の課題については、やはり十分な体制ではない部分があります。</p> <p>材木座地域では住民の皆さんともお話ししながら、津波避難タワーや、紅ヶ谷（弁ヶ谷、材木座六丁目の市営住宅跡地）に避難していく、そこに災害時用物資倉庫を置くといった議論を積み重ねているところではありますが、まだまだ十分ではないと思っています。引き続きしっかりと対応しながら、現在の市役所のある場所についても、災害に対応できる機能を含めて、全体として災害に強いまちづくりを進めたいと考えています。</p>
<p>4 湘南アイパーク、湘南鎌倉総合病院辺りと連動した先進医療シティみたいなものを目指していると聞いたが、何か計画があるのか。</p>	<p>湘南アイパーク、湘南鎌倉総合病院、神奈川県、藤沢市、鎌倉市の5者で協定を結んでおり、村岡深沢周辺のまちづくりについて議論してきました。</p> <p>その中の具体的な取組の一つとして、湘南アイパークで自動運転車を走らせ、車内で体の血圧や脈拍を取っておき、病院に着いたときには全てデータを取り終えており、スムーズに診察が受けられるということをイメージした実験も行われたところです。</p> <p>湘南アイパークは、100社を超えるベンチャー企業をはじめとした企業が実験、医療やバイオといった分野で、先端的な研究開発を行っている拠点になっています。</p> <p>そういうところを生かしたまちづくりの進め方が議論には出ていますので、その辺りのお話が先端的な医療的取組というふ</p>

		うに伝わっているのではないかと思いました。
5	<p>鎌倉のまちがこの先の未来も続いていく中で、深沢のまちづくりは非常にキーポイントになる開発だと思うので、ぜひ成功させていたきたいと思う。ただ、まだしっかり詰めなければいけない部分があると感じている。</p> <p>まだ議会が十分納得するところまで詰められていない、あるいは説得力のある材料提供ができていないということが大きいのではないかと感じた。プランの中身が本当に説得力のあるものなのか、あるいは財政なども含めて、実現の可能性が担保できるものなのか、その他の仕組みを踏まえて作られているものかというところが重要だと思う。</p>	<p>市役所現在地の活用については、基本構想はできていますが、まだまだ十分に詳細まで確定しておらず、市民の皆さんに構想をご理解いただくことは、全体を理解していただくためにも重要だと思っています。</p> <p>市役所移転は、新しい新庁舎の基本計画までできており、現在地活用の基本計画も、現在鋭意作成しているところです。</p> <p>議会からもいろいろと入れた方がいい機能や、このようにした方がいいという意見はいただいています。まだ全てを計画に落とし込んでないところもあります。</p> <p>それらを基本計画に落とし込んでいくことで、ご理解していただけると考えており、しっかりと進めていきたいと思っています。</p>
6	<p>未来の鎌倉をつくるに当たり、今回の事業は大きなチャンスだと思っている。是非、末永く喜ばれる良い新庁舎を作っていただきたい。</p> <p>先日の説明会に出席したが、疑問がある。</p> <p>反対される方々が、市役所は現在地にあるべきと言うことはわかる。ただ、現在地には文化財もあり、条例もあり、現在地での建て替えができないため、移転という形をとらざるを得ないということは、市民はそこまで知らないこともあるかもしれないが、議員の方は知っているはずで、議論が尽くされたはずなのに、なぜそのような話になるのか正直わからない。</p> <p>現在地では建て替えできないという議論はしつくされたのか。</p>	<p>議会の中では、何度もご質問をいただく中で答弁を繰り返し行ってきました。</p> <p>ご指摘いただいたように、市役所現在地につきましては、条例で原則 10 m という高さ制限が決まっています。</p> <p>これは簡単に決まったわけではなく、地域の方や住民の方々と議論を交わして、鎌倉の価値を守っていく、景観を守っていくために決まってきたものです。議会の中でも、それは市長の権限で、高さ制限は外せる、外せばいいのではないかといったご指摘等もいただきますが、私の判断だけで簡単に外せるようなものではなく、相当な議論が必要になってくると考えています。そのため、一つの手段ではありますが、現在の制限の中で、まずは何ができるかを考えていく必要があると思っています。</p> <p>また、市役所現在地の地下の遺跡については、御成小学校でも</p>

		<p>大変貴重な遺跡が発掘されたこともあり、これらを守っていくことも鎌倉の行政にとっては大変重要な使命です。</p> <p>こういった制約の中で、現在地で建て替えをしていくことについては、大変難しい状況があると既に議会の中で何度も説明させていただいています。</p>
7	<p>まだまだ反対されている方もいるが、実行するのであれば、渋滞などに関する対策案を出していただきたい。</p> <p>また、新しい市役所の移転に要望したい。上野駅に「エキマトペ」という、駅のアナウンスや電車の音といった様々な情報が字幕付きで見るとすぐわかるようなシステムがある。新しい市役所にはそういったアクセシビリティの工夫をお願いしたい。</p> <p>あと、野村総研の跡地などもあると思うが、まだそこは使われてないように思える。何か良い利用方法があるのであれば、活用した方が良くはないか。</p>	<p>渋滞対応についてはしっかりと対応していきます。</p> <p>それから「エキマトペ」については、参考にさせていただき、市役所の中にも掲示できるような取組は、ぜひ検討していきたいと思います。</p> <p>また、野村総研跡地の利活用については、公募を行い、2者から提案を受けましたが、どちらも契約に至らず、進んでいないという状況があります。</p> <p>現在、神奈川県企業庁の水道部から、野村総研跡地の公共活用についての申し入れがあり、あわせて検討しているところです。</p> <p>いずれにしても、野村総研跡地の早期活用が進むように取り組みを進めていきます。</p>
8	<p>本日の説明を聞いても、具体的なイメージが湧かない。市役所移転ができるようになってから、もう少し具体的なイメージを詰めることが大事なかもしれないが、市民に対して、市民生活として新しい市役所がどれだけいい場所になるのかという具体的なビジュアルイメージがないと、自分ごとに思えないのではないか。</p> <p>ホームページも見てみたが、やっぱりよく分からなかった。</p> <p>具体的にどんな場所を作っていくかということを、ホームページでも広報でもいいので、様々な方法で発信することが大事だと思う。</p>	<p>具体的な部分については、設計を実施し、画ができてくると、詳細の部分もお示しできると思います。現在は位置条例改正が市議会で通らないと、設計費用の予算を提案しないという形にしていますが、ご指摘いただいた点は重く受け止めており、今できることをしっかり見せられるように、様々な方法で工夫していきたいと思います。</p>

番号	質問・意見の要旨	市長の回答要旨
1	<p>市民により興味関心を持っていただくということだが、そもそも市庁舎が移転することを知らない人がまだたくさんいると感じる。大船駅や鎌倉駅など多くの人々が利用する場所に、積極的にポスターや周知広告などを出していくことなどが必要に感じるがいかがか。</p>	<p>市庁舎が移転することを知らない、なぜ市役所移転しないといけないのか、新しくしなければいけないのかということも知らないといった声もたくさんいただきました。様々な形で市民の皆さんに情報をお届けできるように、あらゆる手段でできることは全てやっていると思っていますが、ご提案のように、駅構内などへの広告の掲示はしていない状況です。</p> <p>市の方でできることとして、駅の中よりも駅の外で、公共施設もしくは大船駅西口のペDESTリアンデッキのようなところに掲示したり、工夫することを検討したいと思います。</p>
2	<p>そもそも移転が条例で確定してない時点では、告知は難しいのか。</p>	<p>市としては、市役所を移転する方針は決定していますので、そのように広報でも書いています。ただ、それが誤解を与えるという意味では、議会の議決がなければ、正式には決まらないという部分もあり、併せて注意書きで、議会の3分の2の議決がなければ正式に決まらないということを付記しながら、市の方針や、考え方や経過といったものを、しっかりと伝えていきたいと思えます。</p>
3	<p>説明会は賛成も反対もあったのか。</p>	<p>両方のご意見をいただいています。</p> <p>災害に対して、鎌倉は様々なリスクがあることから、とても関心が高い部分だと改めて認識しました。</p> <p>特に、鎌倉地域周辺の皆さんは、津波の想定もあるため、市役所が移転して、市役所だけ逃げていくというご指摘もいただいたところですが、そういうことではなく、市役所現在地もしっかりと災害に対応できるように機能も入れていき、また津波の対応については、津波避難タワーをたくさん整備する、高い防潮堤を作</p>

		<p>るといったことは、鎌倉のまちづくりの制約の中では難しい。基本的には避難するというので、材木座などでは、津波避難ビルへの避難訓練や公園の裏山に逃げるための通路を新たに作るなどして、それを訓練で使っていただくということを住民の皆さんと繰り返し行うなどしているところです。</p> <p>ただ、まだまだ十分ではないとも思っており、こちらは継続して、地域住民の皆さんと話し合いながら、万が一の津波の襲来時にも命をしっかりと守れる取組に繋げていきたいと思っています。</p>
4	<p>深沢のまちづくりのデザインは、歴史的な風土や環境がかなりイメージとしてある鎌倉市のまちづくりと、どのような違い、もしくは合致することがあるのか。まちづくりのデザインイメージがもう少し出てくると、若い人たちも興味を持つきっかけになるかもしれない。原宿や秋葉原など、独特なまちづくり、イメージ作りをしているまちもある。鎌倉の中心部はイメージしやすいが、深沢はどういったイメージなのか。</p>	<p>深沢は、鎌倉の持つ環境を特に重視しているというところで、まちづくりのテーマを「GREEN × INNOVATION」としています。</p> <p>また、深沢のまち自体も、須崎の古戦場や泣塔があり、長らく鎌倉の歴史の中で語られてきたものがあります。広町や常盤山、そして台峯という鎌倉が大切に守ってきた緑地とネットワークを結ぶところに、ちょうど深沢のまちも位置していますし、このまち自体が環境をしっかりと感じられる、そして、歩いて楽しめる、深沢のまちに行くと、とても心が落ち着くといったような、そういう行きたくなる、歩きたくなる、そんなイメージをしながら、現在まちづくりを行っているところです。口で言ってもなかなかイメージしにくいというところで、本当は、おっしゃるように、具体的なデザインがもっとできると、皆さんがぱっと見て、こういうまちができるんだ、っていうのがわかるというのはご指摘のとおりではありますが、今はまだちょっとざっくりとしたイメージ図になります。今後この深沢のまちづくり自体が進んでいく中で、どういうまちになっていくかというの</p>

		が、具体的に決まっていくので、決まり次第、どんどん情報発信をしていきたいと考えています。
5	鎌倉市の道路整備状況が、深沢地区の開発によって少しは良くなるのか。特に鉄道を越える道路が遅れていると思うので、少しは改善に貢献するのか。	<p>道路整備については、渋滞の状況も含め、改善していく必要があると捉えています。</p> <p>深沢のまちづくりの中での道路整備については、しっかりと行っていくのはもちろん、その周辺道路である県道、市道について、県道にバスベイを作るとか、主要な交差点を改良して、右折車両が渋滞を招かないような形にしていくなど、神奈川県とも連携してやっていくことや、また具体的には、深沢小学校前の道路も非常に道路が狭く、歩行者と車がとても混み合い、通行しにくい状況でもあるため、この辺りも計画をつくり、しっかりと整備を進めていくことを予定しています。</p> <p>鉄道を越える道路については、新駅ができる東海道線を越えるところをどうするかという課題はあると思っています。今後、深沢のまちづくりを進めていく中で、神奈川県や UR、JR 等と、一つの議題として取り扱いながら、何か具体的な解決方法ができるかどうか、引き続き検討したいと思っています。</p>
6	市役所移転が確定したら、現在の市役所は市民が気軽に利用できるシェアスペース、会議室、スタジオなどにするのはどうか。	鎌倉生涯学習センター機能を市役所現所在地に持っていきたいと考えています。その中で市民の皆さんが、日ごろから集まり、交流できて、様々な発信ができる場所にしていきたいので、シェアスペースや会議室、スタジオなどを検討していきたいと思いません。
7	テレワークが日常になってきた世の中なので、東京まで1時間、往復2時間を費やすよりも、地元で2時間使えるようなまちづくりは非常に賛成。市民が気軽に安価で利用できるようなスペースは少ないと思う。現所在地の活用の方法と一緒に語らないと、	市役所現所在地の活用について、(昨年の基本構想の策定を経て)基本計画を作っていく段階になっています。現所在地の活用方法や、実現したい、実現してほしい、ということ、ご意見いただきながら、有効活用を考えていきたいという段階になっています



	市役所の移転は市民の頭には入ってこないかもしれない。	ので、ぜひたくさんのご意見をいただければと思っています。
8	新庁舎でも、障害者や高齢者にも安心して利用しやすい合理的配慮をお願いしたい。	新しい市役所では、そういったことを実現していきたいと思っています。現在の市役所でもできる限りの合理的配慮は心がけていますが、ハード面等々含めて、実現できていない部分があります。しっかりと実現できるように取り組んでいきたいと考えています。
9	深沢地区は地名のとおり低湿地だったところと思われるので、新庁舎設計の際は防災に強い庁舎の検討をお願いしたい。防災の拠点として機能するように配慮をお願いしたい。	深沢という地名は、「深い沢」という名前から、イメージするものもありますが、まちづくりの場所が深沢という地名というよりも、深沢という地名自体の範囲はもう少し広く、元々は鎌倉大仏の辺りも、深沢と言われていたとうかがえるような歴史的文書もあります。いずれにしても、深沢の場所は、元々は海だったというところもあります。そういう点からしても、災害に対して、危険があるのではないかというご心配の声をたくさんいただいています。地盤の調査などもしており、災害があっても被害が最小限に食い止められるように、新庁舎の設計の際には防災に強い庁舎ということを実現していきます。
10	防災拠点の整備の観点で、鎌倉地域から深沢に新しい庁舎ができるという意味での移転は、市内全域の防災に対する指令を出したり、監視、管理をしていくという意味での防災センター的な役割も努めていくイメージで良いのか。	そのとおりです。 深沢の新庁舎に、市役所と消防本部の機能をしっかりと持つことによって、鎌倉市全体の防災力の強化につながっていくということを目指している取組になります。
11	鎌倉市を更に盛り上げられるように、まちおこしの拠点として活用できたらいいと思う。	鎌倉地域と大船地域、そして深沢地域の3拠点をもって、鎌倉市全体を盛り上げていくという考え方で進めているところです。 深沢と鎌倉の二つの場所が、新しく生まれ変わるところに、多くの市民の皆さんに参画していただき、一緒に鎌倉を盛り上げるような拠点としていきたいと思っています。